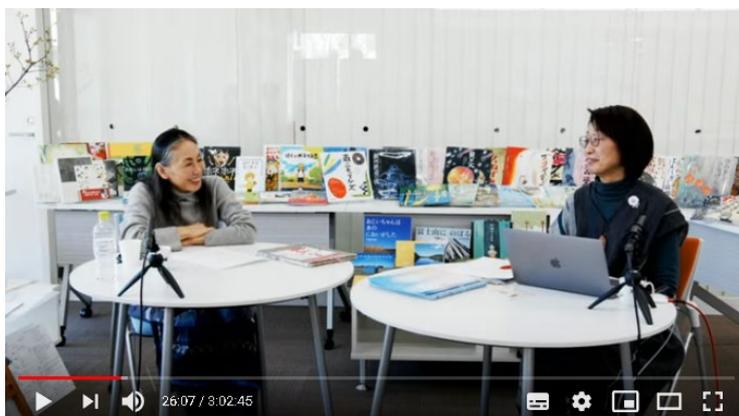


「神戸発、いまだから・・・！一言でつなぎ、つむぐ7つの物語（ストーリー）ー」
第7回「なぜわたしは編集者になったのか」開催報告

新型コロナウイルス感染拡大により、学びの場としての大学のありかただけでなく、わたしたちの生き方や働き方にも変化が迫られています。今年度の神戸市外国語大学魅力発信事業では、神戸で活躍する7名の方々による初めてのオンライン講演会をシリーズで企画しました。国際感覚と広い視野を備えた講師の方々のライフ・ストーリーを大学キャンパスから発信します。この困難な時代における新しい学びと暮らしを共に考えます。

2020年、「行動する国際人」の育成を教育理念とする神戸市外国語大学は、国際都市神戸が歴史の中で育んできた芸術文化や経済の力を再発見し、そこから世界につながる新たな価値観の創造をめざします。

2月6日（土曜）、2020年度魅力発信事業の最終回となる今回は、編集者で作家の松田素子氏を迎えてのオンライン講演会を開催しました。



松田さんは編集者としてこれまでたくさんの絵本を手掛けてこられました。初めて絵本に出会ったのは意外にも大学生になってからだったそうです。「人の心の真ん中に何か大切なものを運んでいくのに、こんなにすごい乗り物があったのか」と絵本との出会いを表現されていたのが印象的でした。そんな絵本との運命的な出会いをきっかけに始まった編集者としてのライフストーリーをたっぷりお話をさせていただきました。



絵本作りをしていく中で出会った作家さんとのエピソードの数々、被災地の子どもたちとの交流など、たくさんのストーリーの中からつむがれた松田さんの言葉は、視聴者から多くの反響をいただき、総再生数は1500回以上を記録しました（2月22日現在）。

オンラインをメインとする講演会は本学初の取り組みでしたが、結果として、本学の学生だけにとどまらず、遠く離れた場所からも老若男女問わずたくさんの方とつながり、つむぎつなぐ物語の場を共有することができました。

講演後に届いた視聴者からの感想を一部紹介します。

たくさんの方に感想をお送りいただきました。ありがとうございました。

講演後届いた感想（一部抜粋）

松田さんのお話ではいつも、自分を支えてくれるような言葉にたくさん出会えます。3時間あまり、じっくりうかがえて感激しました。わたしは子どもの本の翻訳をしているのですが、様々な障壁があっても、知的に優雅に戦っていきたいと思いました。大変、勇気づけられました。

これから生きていく上で、心に残しておきたい言葉にたくさん出会うことができ、感動しました。（困ったアンテナ、回り道をしたりゆっくりじゃないと手に入れられないものがあること、失敗から逃げない、心の根っこを伸ばすなど）絵本の編集がどのようなお仕事なのかも初めて知ったので、興味深かったです。ありがとうございました。

コロナ自粛で家にいる時間が長くなると、将来や自分のことを考える機会が増え、悩んでしまうこともありました。今だからこそ発見できることを大切にして今後の励みにしようと思いました。松田さんが、自信がないからこそ自分に必要なことが見えてくるとおっしゃっていたことが印象的でした。私も理想の自分に届かないときに自信がなくなりますが、その時には、自分に求められることから達成できるようにコツコツ頑張ろうと思います。

講演全体を通して、松田さんの話し方がとても分かりやすく、さすが編集者の方は語彙力が豊富なんだなと感じました。松田さんが編集者になったきっかけは本当に偶然の出会い

でしたが、やはりそれは運命だったのだろうと思います。また、どんな辛い状況でも、それをネガティブではなくポジティブに変える思考は、私も積極的にまねをしようと思いました。講演を聞いて、大学生活やこれからの人生、前向きに考えられるようになりました。ありがとうございました。

シリーズ全体に対しての感想（一部抜粋）

改めてすべての講演を振り返って思うことは、講演してくださった皆さん全員が、自身の人生について素晴らしい考え方や気づきをされているということでした。どの講演者の方のお話を聞いても、「この経験が～だった」と、自分が歩いてきた道についてすごく客観的にとらえてらっしゃり、毎回ハッとさせられました。それと同時に、当時の不安な心境や悩みも話してくださったので、自分と同じだったんだと安心することもできました。この講演会を通して、いつか私も皆さんのように、誰かに自分の学びや気づきを話せるような生き方ができるように頑張ろうという勇気をもらいました。

オンライン授業になったことで人と出会う機会が少なくなってしまったと感じていました。しかし、この講演会を通して例年なら出会えなかったかもしれないような方々のお話を聞くことが出来たと思います。困難な状況の中で私自身辛い時期もありましたが、講演者の方の様々なお言葉にとっても励まされました。